

日 時	タイトル名	場所・座席	料 金	チケット 発売場所	未就 学児
8/31 (土)	開演 17:00 (開場16:30) 大和郡山市民劇団 「古事語り部座」公演 郡山ラプソディ ～ 麗しの20世紀少女歌集 ～	大ホール 全席自由	1,000円	発売中 [ホ] [ロ] [e+]	
9/1 (日)	<p>作・演出・出演: 松村 武、音楽・演奏: サキタハデメ、出演・歌唱ダンス指導: さけもと あきら、出演: 大和郡山市民劇団「古事語り部座」、演奏: 山下 憲治(ピアノ)、えぐち ひろし(ベース・ギター)、池田 安友子(パーカッション)、ユン ファゾン(トランペット)、SO-SO(ヒューマンビートボックス)</p> <p>〈同時開催〉・展示「旅する少女歌劇団 日本少女歌劇座展 - 大和郡山発 元祖ローカルアイドルの群像 -」 8月24日～9月1日 10:00～17:00(8月27日は休館) ギャラリートークを8月24日に開催します。1回目11:00 2回目14:00 ・講演「日本少女歌劇座の35年 元祖ローカルアイドルの群像」講師: 鶴飼 正樹さん(京都文教大学総合社会学部教授) 8月31日 14:00～(展示・講演とも展示室開催で入場無料) ◎この事業は一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじを財源としたコミュニティ助成事業を活用して実施しています。</p>				
10/5 (土)	開演 14:00 (開場13:30) 松本真理子ファミリーコンサート '19 「マリンバまつりパートⅢ・ やっぱりマリンバが好き」	大ホール 全席自由	大人 2,500円 小・中・高校生 1,500円 (当日は大人500円増)	発売中 [ホ] [ロ] [e+]	×

※チケット欄の記号=発売場所 [ホ]: やまと郡山城ホール窓口 [ロ]: ローソンチケット [e+]: イープラス

令和元年度 マリンバ教室受講生募集 [全20回] (要申込・先着順)

日時=9月19日から令和2年2月27日までの木曜、17時～18時
※令和2年3月1日(日)に発表会が、また、2月29日(土)にリハーサルがあります。

場所=DMG MORIやまと郡山城ホール リハーサル室 ほか

対象・定員=市内の小学3年生から6年生、20人

講師=松本 真理子さん 受講料=5,000円

※練習用のマリンバとマレットが必要です
(代金は10,000円程度)。

申込・問合せ=8月15日(木)9時から、DMG MORIやまと郡山城ホール事務室(☎54-8000)へ



「カステロ」

8月31日(土)までの期間、15時からビアホール(完全予約制)としてもご利用いただけます。また、ご予約いただいた場合は21時まで営業を延長いたします。
(オーダーストップ20時)

営業時間=9時～19時(DMG MORIやまと郡山城ホール休館日は休業)

問合せ=☎55-5586



市長てくてく城下町 169

片桐氏のルーツ

大和郡長 上田 清

明治22(1889)年に10か村が合併して旧片桐村が誕生した際には、新村名を元領主の名「片桐」とするか、片桐氏が治めた藩名の「小泉」とするかという論争があり、結局片桐に決まったのですが、先日、その片桐氏発祥の地という長野県上伊那郡中川村から宮下健彦村長がお越しいただき、これをご縁に交流をというお話を頂戴しました。

宮下村長によれば、片桐氏は平安時代の後期に都から赴任した源為基がこの地に館を建てて土着したのが始まりで、豊臣秀吉や徳川家康に仕えた片桐且元や、その弟で小泉藩初代藩主となる片桐貞隆のルーツは中川村にあるということです。

地元では『片桐氏発祥の地』記念碑建立の話が盛り上がっていることもあり、ゆかりのある地域にお声をかけておられるとのことでした。

中川村はNPO法人「日本で最も美しい村」連合の会員で「自然たっぷり 笑顔たっぷり やすら

ぎの村」中川村との、特に子どもたち同士の交流が始まればと期待しているところです。

一方、「小泉」には弘法大師が開いたとされる名水「小白水」があり、「小」と「白」+「水」で「小泉」という地名が生まれたといいます。

この度、ある方から、小白水に因む、歴史的にも貴重な石碑を寄贈いただくことになりました。

石碑の正面には「小白水/貞昌」右の側面には「寛文三年一月二十八日/片桐藩主」と刻まれていることから、茶道石州流の元祖で小泉藩2代目藩主片桐貞昌が寛文3(1663)年に作ったものだといことがわかりましたので、つい先日、片桐公民館の茶室前に設置させていただきました。

茶会で用いた名水「小白水」に対する深い思いがひしひしと伝わってきそうです。

地域のさまざまな物語をこれからも大切にしていきたいと、あらためて感じています。